



カムリウミスミ

門川町教育研究所

ふれあい

平成24年3月 NO11
発行 門川町教育研究所
所長 新原 とも子
TEL 63-1566

門川町教育研究所では、子ども一人一人の確かな学力の向上をめざして、教育研究や情報発信を行っています。今回は、2月5日（日）の門川町PTA研修大会と2月10日（金）の「宮崎県教育研究発表大会」での研究員の活躍の様子を中心に紹介します。

宮崎県教育研究発表大会

今回は、教育研究所の発表の様子を紹介します。教育研究発表大会には、400名以上の先生が集まり、熱心に研究・協議を行いました。

門川町教育研究所は、学校や関係組織が力を合わせて取り組んでいる「学力向上2プラン」についての研究・実践を発表しました。

- プラン1 学習の定着確認と個に応じた指導の工夫
- プラン2 ドリル学習の効果的な指導の工夫
- 活用 活用する力を育てる指導の工夫

プラン1は、一人一人の子どもが、しっかり理解できているかをつかんで指導しよう、プラン2は、授業と家庭学習をつないで、繰り返し学習してわかるようにしよう、ということです。活用は、これまでに学習したことを使って、理解が深まるように指導しよう、ということです。

研究員が役割を分担して発表したり、会場からの質問に答えたりと、熱心に研究発表に取り組みました。発表を聞いた参加者からは、「これからの指導に生かします。」「大変勉強になる研究発表をありがとうございました。」という声が、たくさん寄せられました。



研究発表する研究員



約400名が参加した開会行事



ドリル学習を計画的に行い、授業と家庭学習につながりを持たせることが、いかに大切であるか、改めて考えさせられた。自分も再度ドリル学習をいかに効果的なものにするか、実践に取り組んでいきたい。素晴らしい発表をありがとうございました。

児童の実態が明確で、研究の目標とよく関連していました。発表を聞いていて、とてもわかりやすかったです。難しい用語ではなく、わかりやすい用語で進められていました。ありがとうございます。



寄せられた声の紹介

門川町PTA研修大会

* 今回は、PTA研修大会での教育研究所の発表の様子を紹介します。家庭教育で大切な5つの工夫について発表しました。

門川町教育研究所の発表

研究員を代表して、門川中学校の酒匂先生が発表しました。門川町の児童生徒の学習や生活の現状と家庭教育で大切な5つの工夫について、話をしました。

- 子どもに夢や希望をもたせよう。
- 基本的な生活習慣を育てよう。
- 親子の会話を大切にしよう。
- 学校や社会のきまりを教えよう。
- 家庭学習に力を入れよう。

酒匂先生自身の子育ての話題を入れてわかりやすく、また、みやざき学力調査や全国学力調査のデータをもとに、門川町の子ども達の課題を中心に話をしましたので、保護者の皆さまにもしっかりご理解いただけたのではないかと思います。



上は、熱心に発表する門川町教育研究所の研究員です。
左は、開会行事の様子です。

3月の生活ポイント

進級や進学準備をしっかりと、新しい学年を迎えましょう。



子どもへの春休みアドバイスポイント！

春休みは、卒業や進級で学校から離れ、一番生活が乱れて、問題が起きやすい時です。早起き・早ね・朝ご飯などの、これまでの習慣をくずさないように、しっかり声をかけましょう。
また、この一年間使った学習道具や教材などを整理して、新学年に必要なものを準備させましょう。

教育研究所からのメッセージ

子ども達が楽しみにしている新しい学年は、4月から始まるのではなく、春休みから始まると言ってもよいのではないのでしょうか。春休みは、先生の手が届きにくいので、お父さんやお母さんが先生です。春休みの過ごし方を子どもとよく話し合い、目配り、気配りをわすれず、すぐそこに来ている新しい学年を楽しく迎えましょう。

子育てや教育のことなどで、悩んでいませんか？

困った時、迷った時は、
教育相談室に気軽に電話してください。

電話相談（門川町教育相談室）
63-1566

~~~~~キリトリセン~~~~~  
\* ご意見やご感想がありましたらお寄せください。（担任まで）